

## Web 動画コンテンツはどう変わる

本論文では、Web 動画コンテンツに大きな影響を与えるテレビコンテンツとの関わりの変化、インターネット利用の目的として SNS と共通する点からユーザーの特徴を把握することで、今後の Web 動画コンテンツの展望を考察することを目的とした。

第 1 章では、我が国の Web 動画サービスを代表するニコニコ動画、ユーザーがインターネットに求めるものを明らかにするために SNS、クリエイターがサービスやユーザーの変化にどのように対応し変容したのかを知るために YouTuber の 3 つを取り上げて調査した。

Web 動画コンテンツのサービスの特徴とコミュニティの盛り上がり、ユーザーの性質の変化とインターネットとの関わり方、クリエイターに求められる面白さと社会に求められるコンテンツへの理解について考察を行った。

続く第 2 章では、一転、外面で起きている変化として、インターネットに進出してきたテレビコンテンツの性質を分析し、Web 動画の担う役割から、テレビとインターネットが生み出した新たなサービス、メディアの信頼性、これからの関係性を検討した。

最後に、第 3 章では、これからの成長のカギを握る存在について考え、コンテンツへ新規参入するクリエイターやこれからコンテンツが成長する中で生まれる懸念、現在のネットビジネスの中心にいるインフルエンサーに注目し、それらの課題を考える。

結果として、現在の Web 動画がいかに混沌としており、無二の面白さを持っているのがわかった。つまり、これからの変化として考えられる、コンテンツの整備がなされる過程で、今あるサービスの自由度や危険性、区別のなさは失われるということだ。

市場の拡大という観点だけでも、事務所、配信サイトの運営、広告主、配信者の関わり方にはまだまだ整理する余地があるように考えられる。専門化するも包括的に取り扱うことも可能な、線引きや価値付けを現在進行形で図られているコンテンツであるためだ。

明確な結論ではなく、Web 動画にまつわる様々な可能性やその内容について論じた本論文は、コンテンツの未来をテーマにしていることを考慮しても未完成である。本研究の最終段階で、関連した言葉として「産業融合」という研究を包括できる用語が見つかった。放送と通信に関わる現在の状況の変化を市場やデバイスを含めて、より広い視野で捉えたものであり、本研究をより深める材料として今後の課題としたい。